



学校だより



福島県立大笹生支援学校
NO.4 R5.3.1

今年度を振り返って

保護者の皆様、地域の皆様、大笹生学園及び関係機関の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

今年度も「With コロナ」の新しい生活様式からの始まりでしたが、マスクの着用、うがい手洗いなど、感染予防及び感染拡大防止のために御協力いただいていることに改めて感謝申し上げます。皆様一人一人の努力が児童生徒の学習の保障につながっています。

現在では、コロナ禍を悲観するのではなく、授業や行事等をどのように工夫すれば可能か、状況に応じて日々取り組んできたところ、ICT 機器の活用もあり、時間をかけずにより簡単に誰でもが参加でき、しかもその成果が直ぐに見られようになってきました。社会のデジタル化が進む中、児童生徒の学習指導においては、より効果が発揮できるようアナログ的な学習も大切にしながら柔軟に対応しています。コロナ禍をチャンスに捉え様々な工夫が生まれています。

国語、算数などの教科学習から基礎的な知識と技術を学び、習得したことをさらに学校や家庭での生活に生かしていくことで定着がより図られていきます。児童生徒を取り巻く環境全てが学習の成果を発揮する場面ですので、御家庭や関係機関との連携を密にしてその成長を丁寧に見取っていきたいと考えています。今後も児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実により一層努めて参ります。

さて、今年度は、伊達地区に「だて支援学校」が開校しました。県北地区における特別支援教育の充実と発展が期待されるところであります。

今後も、「地域と共に学び、共に生きる」学校を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

大笹生支援学校長 西牧 辰典

小学部

1月27日(金)、新型コロナウイルスの影響で修学旅行が中止になった小学部6年生が、校外学習で新幹線を利用して「郡山市ふれあい科学館スペース・パーク」へ行ってきました。ビッグアイ 22 階から郡山の街を展望したり、ムーンジャンプやトリプルスピンといった宇宙に関わる体験をしたりと心躍る学習活動を行ってきました。郡山駅ではフードコートで昼食を摂ったり、お土産を選んで購入したりするなど、修学旅行さながらの経験をすることができました。



中学部

1月18日(水)に学部集会を実施しました。体育館、自立活動室の2会場に分かれて学年対抗の玉入れを行い、各会場の合計数で順位を決めました。リモートでつないだことで、それぞれの会場の様子を知ることができ、大変盛り上がった活動となりました。結果は、大接戦の末、3年生が優勝。学年みんなで喜びを分かち合い、他の学年の生徒からはあたたかな拍手が送られました。感染症対策から予定通りに集会活動が実施できないこともありましたが、中学部全員で楽しい思い出を作ることができました。



高等部

2月7日(火)に、高等部卒業生を送る会が行われました。生徒会役員の生徒たちが中心となり会を進行しました。3年生が楽しみにしていた各学年の出し物は、コロナウイルス感染症防止のため、一堂に会することを避け、リモートにて「ビデオメッセージ」という形で行いました。各学年、趣向を凝らした内容・編集で、笑いあり、感動ありの素晴らしい発表となりました。3年生にとっても、とても思い出深い時間になったと思います。また、3年生の会場は華やかな装飾やエール、メッセージなど卒業を祝う在校生の気持ちが表れ、心温まる会となりました。



(学校だよりは HP からご覧いただけます。QR コード)

